

心の悩みエトセトラ

第28話



精神科医 瀬戸 睿

アフガニスタンから平和を考える中村哲医師(その2)

前回は、中村哲医師がペシャワール会を作りアフガニスタンで水路と緑地を作る報告を書きました。

アメリカを中心とする欧米諸国の空爆と2000年に始まった大旱魃によって、アフガンの地は荒廃しきっていました。1979年にソ連の侵攻で200万の国民が犠牲となり、アメリカ等の援助で反ゲリラ闘争を展開した中にオサマ・ビンラ

ディンがいました。ソ連が撤退した1988年以降アメリカ等に期待した民衆は、湾岸戦争というアメリカのイラク攻撃を見て憤激。そして、2001年9月11日のアメリカ貿易センタービルの破壊へとつながりました。アメリカはビンラディンをよこせとタリバンに要求、拒否されアフガン空爆を行い、アフガニスタン国民を何十万も殺したのです。

も、井戸掘りや用水路を作る活動には空爆を行えません。国際世論を恐れたからです。しかし、日本政府はアメリカの有志連合に参加し、空爆を支持しました。平和憲法を持つていると信頼されていた日本は、以後アフガニスタンの人からは敵とみなされました。しかし、ペシャワール会は絶大な信頼をされました。30年も地道に活動してきたからです。

信頼を得るには戦闘機など無くし、自衛隊を災害救助隊に再編し、日本は復興支援に協力するべきです。コスタリカ(軍隊を持たない国)と協力し合い、平和の訴えをし、国々が武器を捨てることを呼びかけましょう。



医療法人社団 俊睿会

南埼玉病院

精神科・神経科・心療内科・デイケア

越谷市増森 252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎048-965-1151